

# りそな経済フラッシュ (今後の注目イベント)

▶ トランプ関税による景気やインフレへの影響度合い、それらを受けた主要国の金融政策の動向に注目が集まっている。  
▶ また、通商交渉に目途が立った後、トランプ政権が注力するとみられる「大型減税」が次の材料になると予想される。

見通し      2025年4-6月      7-9月      10-12月      2026年1月～

**景気**

- ✓ 関税による景気後退リスクが懸念される
- ✓ 又、インフレの再上昇が予想されている

**景気減速が継続**  
関税による景気減速がメイン予想なるも、景気後退リスクも孕む

**景気は底入れ**  
欧米景気は底入れへ

**インフレ再燃の可能性**  
関税により輸入物価が押し上げられインフレが再加速するリスク

**金融政策**

- ✓ 景気減速とインフレを天秤にかけつつ、欧米は利下げ継続
- ✓ オントラックの国内と、外部環境による影響を鑑みつつ、日銀は利上げを模索

**米国・欧州が複数回利下げ**  
関税による影響を確認しつつ、特に米国は慎重に利下げを継続

**利下げ目途は3.5%程度?**

**日銀が追加利上げを模索**  
国内の賃金・物価はオントラックとの認識を示しながら、関税を中心とした外部環境を確認しつつ追加利上げスタンスを維持

**利上げ目途は1.00%前後?**

中銀会合	米FRB	5/6-7	6/17-18 ドットキャスト・経済見通し	7/29-30	9/16-17 ドットキャスト・経済見通し	10/28-29	12/9-10 ドットキャスト・経済見通し	1/27-28	3/17-18 ドットキャスト・経済見通し
日程	欧ECB	4/17	6/5 スタッフ経済見通し	7/24	9/11 スタッフ経済見通し	10/30	12/18 スタッフ経済見通し	2/5	3/19 スタッフ経済見通し
	日銀	4/30-5/1 展望レポート	6/16-17	7/30-7/31 展望レポート	9/18-9/19	10/29-10/30 展望レポート	12/18-19	1月下旬 展望レポート	3月下旬

**米国トランプ政権**

トランプ政権の焦点は関税→減税へ?

4月 自動車関税 相互関税 対中関税 発動

5月(?) 自動車部品 関税発動予定

7/8(?) 上乗せ関税 猶予期限

9月 つなぎ予算 期限

12月末 トランプ減税の期限到来

選挙活動 本格化

11月 中間選挙 上院3分の1 下院全議席 が改選

各国との通商交渉 貿易協定見直しや投資促進等を図る

「トランプ減税」を協議? 減税の拡充・恒久化を議論→景気押し上げへ

対中国への 引き締め継続?

**その他**

主要な政治日程 など

4月 (~10/13) 関西万博	6月 G20 サミット 於大阪	6月 G7 サミット 於カナダ	7月 第27回 参議院 議員選挙	8月 ジャクソン ホール 会合	9月 国連 総会 於米国	10月 IMF 於米国	11月 G20 於南ア	1月 ダボス 会議 於スイス	2月 冬季五輪 於 イタリア
---------------------	--------------------	--------------------	---------------------	--------------------	-----------------	----------------	----------------	-------------------	-------------------

出所:各種報道、bloomberf

◎注意事項  
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることがあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。